

いきいき茨城ゆめ国体

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



式典基本構想



第74回国民体育大会茨城県準備委員会

目 次

基本構想策定にあたって	-----	P 1
1 「いきいき茨城ゆめ国体」の概要	-----	P 2
2 式典の概要	-----	P 3
(1) 式典テーマ		
(2) 基本的な考え方		
3 総合開・閉会式の概要	-----	P 4
(1) 総合開会式		
(2) 総合閉会式		
(3) 各競技会の表彰式		
(4) 大会旗・炬火リレー		
4 開催に向けて	-----	P 7
参考資料	-----	P11



式典基本構想策定にあたって

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする目的で、毎年開催されます。

茨城県では、1974（昭和49）年に「水と緑のまごころ国体」を開催してから、45年ぶりとなる2019（平成31）年に「いきいき茨城ゆめ国体」を開催することとなりました。

茨城県開催での2巡目となる「いきいき茨城ゆめ国体」では、「いばらきの魅力を発信 みんなで創るスポーツの祭典」を基本目標に掲げています。その実現のため、「『いばらきの魅力』を発信する国体」「いばらきの特色を生かし、創意工夫を凝らした国体」「人情味あふれるおもてなしで創る国体」「更なるスポーツの推進を図る国体」の4項目を大きな柱として、スポーツの普及や競技力向上を図るとともに、人々との交流による地域の活性化や地域文化の振興など活力ある社会形成への契機となるよう努めているところです。

また、県民が心を一つにして開催準備を進めていくことは、国民に向け、震災からの復興を成し遂げた元気な茨城の姿を伝えることにもつながります。

中でも、特に総合開・閉会式をはじめとする式典は、最先端の科学技術と伝統が融和する多彩な「いばらきの魅力」と未来に向けて夢あふれる本県の姿を全国から訪れる人々に発信する絶好の場であることから、全県民総力を挙げて、地域の特色を生かして、来県者を温かく迎えておもてなしをする中で、交流の場を広め、お互いの絆を深めて、感動と喜びを共有できる場としていきたいと考えています。

本式典基本構想は、2014（平成26）年に策定した式典基本方針を踏まえた上で、式典に関する基本的な考え方を明らかにするもので、「いきいき茨城ゆめ国体」における式典全体の共通指針として策定します。



1 「いきいき茨城ゆめ国体」の概要

大会名

第74回国民体育大会

愛称

いきいき茨城ゆめ国体

(趣旨)選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々に、活気にあふれ、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典のすばらしさを感じていただきたい、という想いを込めています。

スローガン

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

(趣旨)国体に様々な形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という想いを込めています。

マスコット

いばラッキー



開催時期

平成31年9月中旬～10月中旬の11日間以内

実施競技

正式競技(37競技)

公開競技(5競技)

特別競技(1競技)

デモンストレーションスポーツ(平成27年2月現在 22競技)

2 式典の概要

「いきいき茨城ゆめ国体」の式典は、総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火リレーで構成します。

国民体育大会開催基準要項及び第74回国民体育大会開催基本構想並びに第74回国民体育大会式典基本方針に定められた基本事項を踏まえ、「翔べ 羽ばたけそして未来へ」のテーマのもと、「いきいき茨城ゆめ国体」にふさわしい式典とします。



(1) 式典テーマ

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

(2) 基本的な考え方

- ① 豊かな実りと美しい自然，悠久の歴史と文化，最先端の科学技術と伝統が融和する“いばらきの魅力”を表現し，全国へ発信する式典
 - ・いばらきの持つ多彩な魅力を積極的に取り入れた式典を目指します。
 - ・魅力あるいばらきを再認識するとともに，未来に向けて夢にあふれる本県の姿を全国に広く発信する式典を目指します。
- ② 県民総参加のもと，すべての人が心をつなげて協働し，簡素ながらも創意工夫を凝らしたみんなで創る手づくりの式典
 - ・県民総参加のもと，一人一人が主体となり，心をつなげて協力し，いきいきと活躍できる式典を目指します。
 - ・簡素ながらも知恵と工夫を凝らし，活気に満ちあふれ，かつ，ぬくもりを感じる式典を目指します。
- ③ 訪れる人々を人情味あふれる心のこもったおもてなしで歓迎し，出会いと交流により絆を深め，参加したすべての人が感動と喜びを共有できる記憶に残る式典
 - ・地域の特色を生かした心温まるおもてなしや，人と人とのふれあいを通して，地域の連帯感や郷土愛が高まり，参加したすべての人の絆が深まる式典を目指します。
 - ・おもてなしをする人，訪れた人，参加した人すべての人が感動と喜びを共有し，いつまでも記憶に残る式典を目指します。

3 総合開・閉会式等の概要

(1) 総合開会式

開催会場

笠松運動公園陸上競技場

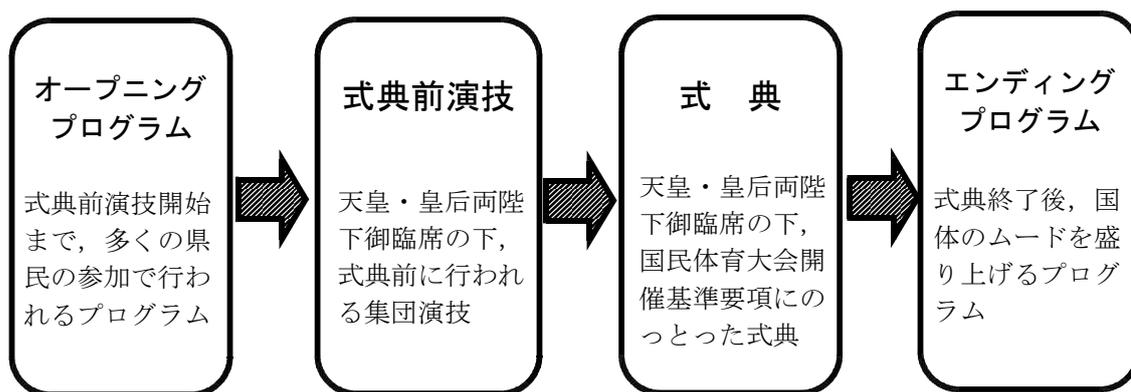


① 基本的な考え方

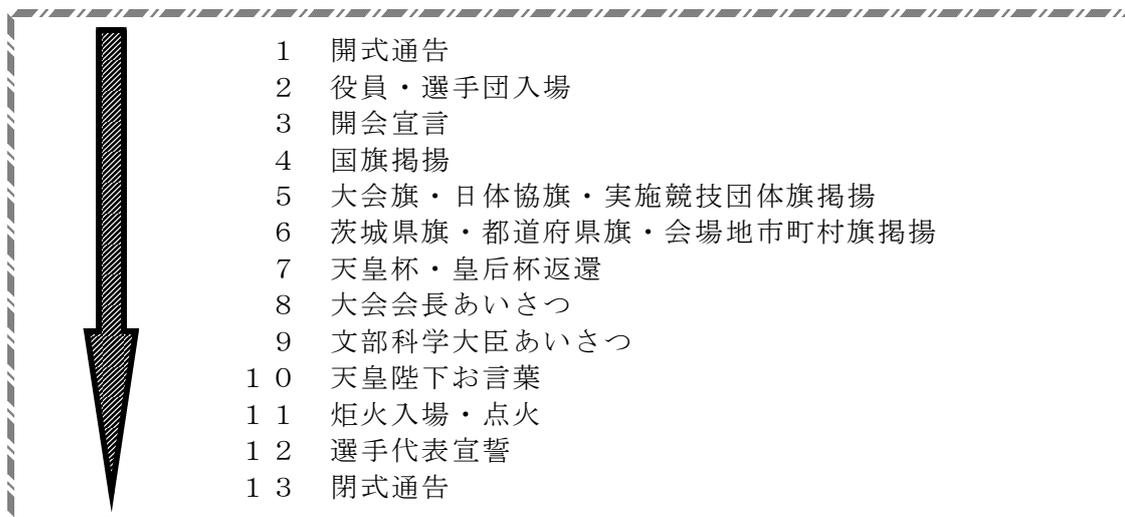
- ・自然・歴史・文化・最先端の科学技術と伝統など、いばらきの魅力を存分に生かした内容とします。
- ・県民総参加のもと、簡素でありながらアイデアを凝らした演出により、これから始まる国体への期待感を高める内容とします。
- ・全国から来県する人々を心のこもったおもてなしで迎え、出会いと交流をもって絆が深まる内容とします。

② 構成イメージ

オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成します。



③ 総合開会式における式典の流れ（次第）



※次第については、公益財団法人日本体育協会と協議を行って、正式決定します。

(2) 総合閉会式

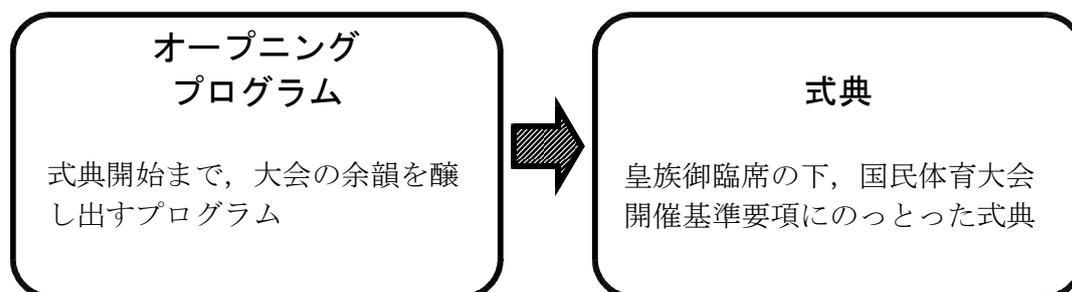
開催会場 笠松運動公園陸上競技場

① 基本的な考え方

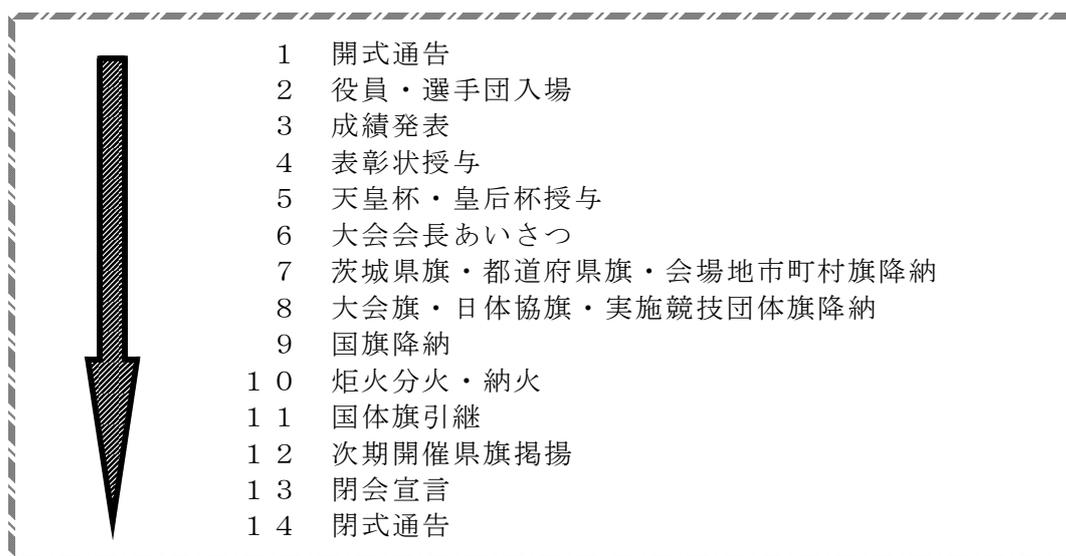
- ・「いきいき茨城ゆめ国体」を振り返り、感動を与えてくれた選手たちを称えるとともに、関わった人すべてに対する感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ・全国から訪れた人々と県民との交流・培った絆を大切に、再会への期待につなげる内容とします。
- ・第19回全国障害者スポーツ大会や第75回国民体育大会につなげる内容とします。

② 構成イメージ

オープニングプログラムと式典で構成します。



③ 総合閉会式における式典の流れ（次第）



※次第については、公益財団法人日本体育協会と協議を行って、正式決定します。

(3) 各競技会の表彰式

① 基本的な考え方

- ・感動と勇気を与えてくれた選手の健闘を称える内容とします。
- ・簡素化に努めながらも地域の特色を生かして、心のこもったおもてなしが感じられるようにします。

② 実施方法等

- ・表彰式は会場地市町村が競技団体と協議のうえ実施することとします。

【参考：国民体育大会開催基準要項細則（抜粋）】

7 本則第19項第5号（各競技会表彰式の要項）

各競技の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次の通りとする。

- ・成績発表
- ・表彰状授与
- ・大会会長トロフィー授与
- ・競技会会長閉会のあいさつ
- ・会場地代表歓迎のことば
- ・国旗降納
- ・大会旗，実施競技団体旗，会場地市町村旗降納

(4) 大会旗・炬火リレー

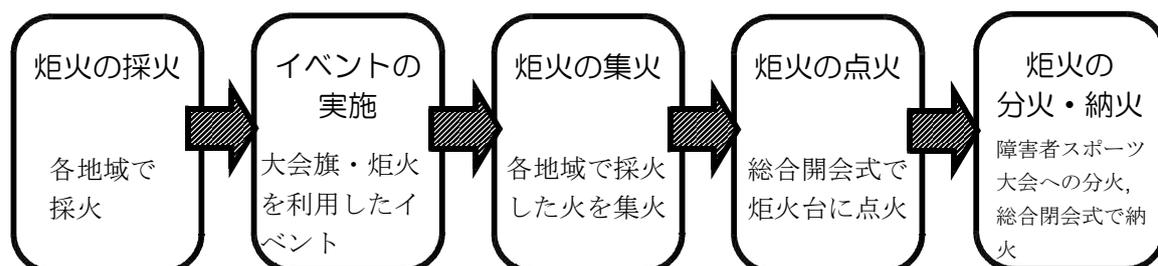
① 基本的な考え方

- ・県，市町村がともに地域の特色を生かした採火や催しを行うことで，国体に向けた機運を盛り上げる内容とします。
- ・小さな子どもから高齢者までが交流をもって，連帯感を高め，みんなで感動と喜びを共有できる活気あふれる内容とします。

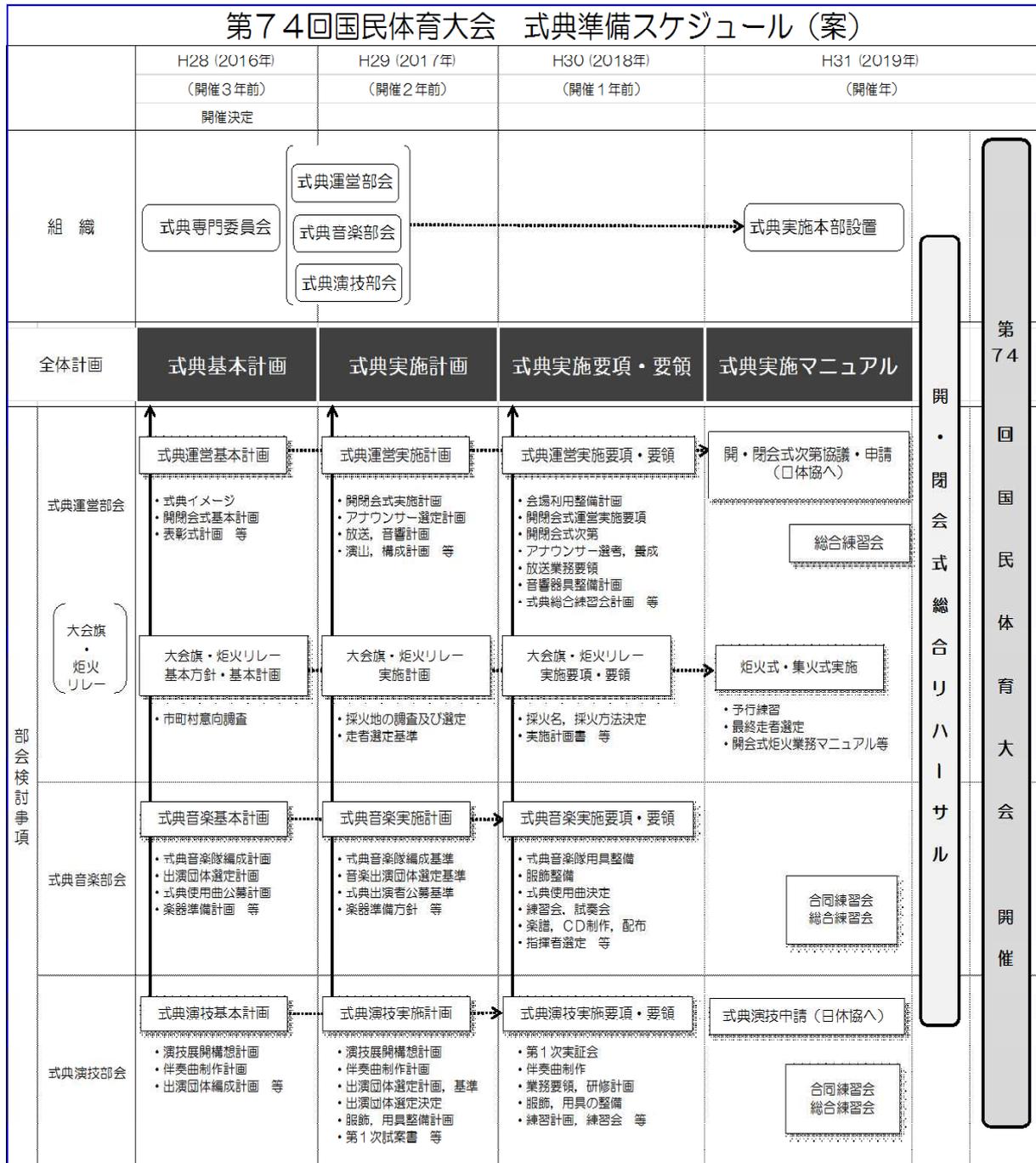
② 実施方法等

- ・簡素な中にも創意工夫して，自然・歴史・伝統・文化・科学などさまざまな地域資源を有効活用できるよう検討します。

③ 実施方法等のイメージ



4 開催に向けて (今後のスケジュール)



參考資料

国民体育大会開催基準要項（第70回大会以降用）（抜粋）

（平成26年5月15日財団法人日本体育協会）

19 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開会式及び総合閉会式として、開催県が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

総合開会式	開会宣言 国旗掲揚 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗掲揚 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚 天皇杯・皇后杯返還 大会会長あいさつ 文部科学大臣あいさつ 天皇陛下お言葉 炬火点火 選手代表宣誓
総合閉会式	成績発表 表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与 大会会長あいさつ 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗降納 国旗降納 炬火納火 国体旗引継 次期開催県旗掲揚 閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第7項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

20 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。

21 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

第74回国民体育大会 開催基本構想 (抜粋)

【基本目標】

「いばらきの魅力を発信 みんなで創るスポーツの祭典」

○「いばらきの魅力」を発信する国体

全県民が総力をあげて、郷土を代表する競技者を応援するとともに、積極的にボランティアとして大会に参画するなど、大会の成功に向けて一人ひとりが活躍する手づくりの国体を目指します。

国体開催を本県の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、本県の魅力を再認識するとともに、県内外の人々の記憶に残るよう発信します。

基本目標の実現に向けた取組み

- (1) 県民総参加による国体の開催
- (2) 効果的な広報活動の展開
- (3) 魅力の再認識と発信
- (4) 記憶に残る大会の運営

○いばらきの特色を生かし、創意工夫を凝らした国体

競技会場は、県内の既存施設を有効に活用するなど、簡素・効率化を図りながらも様々な視点からいばらきらしい創意工夫を凝らします。

広く県内各地で競技会を開催するなど、県民の参加と連携を深められるよう努めます。

基本目標の実現に向けた取組み

- (1) 県内全域での国体開催
- (2) 大会開催の簡素・効率化
- (3) 既存施設等の有効活用
- (4) 民間活力の積極的導入
- (5) 地球にやさしい国体の開催

○人情味あふれるおもてなしで創る国体

来県者を温かくお迎えし、交流の輪を広げるとともに、地域の特色を活かした観光や歴史、文化的事業の推進を図りながら地域の絆を深め、民泊などの活用も視野に入れた心こもったおもてなしに努めます。

基本目標の実現に向けた取組み

- (1) 来県者との交流の促進
- (2) 県民運動等の促進
- (3) 賑わいの場の提供
- (4) 地域の一体的な取り組みの推進
- (5) ボランティア等の育成
- (6) 魅力ある地域資源を活かしたおもてなし

○更なるスポーツの推進を図る国体

天皇杯・皇后杯の獲得を目指して競技力の向上を図ります。

同時に、国体を契機として県民のスポーツに対する意欲や関心を高めるとともに、併せて指導体制の構築や指導者の養成などを行うことにより、県内各地での開催競技が地域に普及し、国体終了後も継続したスポーツの推進につながるよう工夫します。

基本目標の実現に向けた取組み

- (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (2) 競技力の向上に向けた人材の育成やスポーツ環境の整備
- (3) 住民が主体的に参画する地域スポーツ活動の推進
- (4) 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
- (5) 障害者スポーツの普及と環境整備

第74回国民体育大会式典基本方針

平成26年2月18日第4回常任委員会決定

第74回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項及び第74回国民体育大会開催基本方針並びに第74回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「翔べ 羽ばだけ そして未来へ」のスローガンのもと、「いきいき茨城ゆめ国体」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 豊かな実りと美しい自然、悠久の歴史と文化、最先端の科学技術と伝統が融合する“いばらきの魅力”を表現し、全国へ発信する式典とする。
- (2) 県民総参加のもと、すべての人が心を一つにして協働し、簡素ながらも創意工夫を凝らしたみんなで創る手づくりの式典とする。
- (3) 訪れる人々を人情味あふれる心のこもったおもてなしで歓迎し、出会いと交流により絆を深め、参加したすべての人が感動と喜びを共有できる記憶に残る式典とする。

2 式典の構成

式典は、総合開会式・総合閉会式及び各競技会表彰式並びに大会旗・炬火リレーで構成する。

(1) 総合開会式・総合閉会式

総合開会式・総合閉会式は国民体育大会開催基準要項第19項第3号に規定する各項目及び第19項第4号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。

(2) 各競技会表彰式

各競技会表彰式は、概ね国民体育大会開催基準要項細則第7項に規定する各項目で構成する。

(3) 大会旗・炬火リレー

大会旗及び炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

3 式典の企画・運営

(1) 総合開会式・総合閉会式

総合開会式・総合閉会式は、第74回国民体育大会茨城県準備（実行）委員会が企画し、第74回国民体育大会茨城県実施本部（仮称）が運営にあたる。

(2) 各競技会表彰式

各競技会表彰式は、第74回国民体育大会茨城県準備（実行）委員会が定める要項に基づき、会場地市町村準備（実行）委員会が関係競技団体と協議のうえ、企画・運営にあたる。

(3) 大会旗・炬火リレー

大会旗及び炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。



第74回国民体育大会茨城県準備委員会

茨城県国体推進課 競技・式典準備室

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6

TEL : 029-301-5398

FAX : 029-301-5399

HP : <http://ibarakikokutai2019.jp/>